

一乗谷城



一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）

一乗谷城は1471年（文明3）に朝倉^{たかかげ}孝景によって築城されました。応仁の乱（1467～77年）で京都が荒廃すると、京都の公家や文化人等が一乗谷に移り住んだことで、華やかな京文化が花開き、「小京都」と呼ばれました。

また、宮本武蔵と対決したことで知られる剣豪佐々木小次郎や中^{ちゅうじょう}条流剣術の使い手で小次郎の師ともいわれる^{とだ}富田勢源^{せいげん}は一乗谷とゆかりがあることで知られます。

今回は朝倉氏の興亡を描いた「朝倉始末記」と、朝倉氏最後の当主であった朝倉義景に関する資料を展示します。